

県P連だより

広島大会特別号

2023 Dec.

No.71

広島県PTA連合会

# 陽だまり



▲広島大会シンボルマーク

—広島から全国へ 子どもたちの「未来」を考える—

## 第71回日本PTA全国研究大会広島大会

実行委員長 山本浩司

第71回日本PTA全国研究大会広島大会の開催に際し、全国から6,800名もの皆様にご参加いただき、大会を盛り上げ、大成功を収めることができましたことを、心より感謝申し上げます。

平成31年3月に前回の大会からわずか12年しか経っていないという状況で広島県が次期開催地として決定し、異例とも言える状況で再び全国大会を開催することが発表された際には、多くの方々から開催に対し、疑問や批判の声も寄せられました。しかしながら、過去の大会とは異なる挑戦的な状況であり、最終的には皆様の協力とサポートにより、成功裏に進行することができました。

前大会の大会資料を参照しながら、より良い大会を提供するために努力し、開催県である広島県との緊密な連携を通じて、「学び」を大会のテーマとした、その魅力や特色を引き出すことに心血を注ぎました。このような連携と準備の過程で、多くの方々のご協力があり、今回の経験を通じて、新たな課題に立ち向かいながらも、皆様のご協力と連携があれば、どんな困難にも乗り越えていけることを実感しました。

本大会では「変化の時代に向け、PTA自身が学びの変革を!〜見つけ考えかわろうやぶち楽しいで!!〜」のスローガンのもと、充実したプログラムと有意義な交流を実現することができました。現代社会の急激な変化に対応するために、PTA自身が学びと変革を進める重要性を共有できたことに深い意味を感じています。

この素晴らしい成果は、皆様方の熱意とご協力があったからこそ成し遂げられたものです。大会に参加していただきました、講師・パネリスト・発表者の皆様、そして関係各位のご協力に心から感謝申し上げます。皆様方のおかげで、充実したプログラムと意義深い交流が実現でき、学びと成長の機会を提供することができました。

最後に大会開催にあたり、県内各地の皆様から多大なるご支援を頂戴しましたことを、厚く御礼申し上げます。お一人お一人のご協力が、大会の成功に大いに寄与いたしました。

改めて、ご参加いただいた皆様、本当にありがとうございました。

## 広島県PTA連合会

会長 橋本和博

2023年8月25日・26日と第71回日本PTA全国研究大会広島大会、第53回日本PTA中国ブロック研究大会広島大会全国大会開催にあたり皆様には多大なるご支援ご協力を頂きましたこと、まずは御礼申し上げます。

よく世の中は激動と評されその激動の世の中に常に子どもたちはいます。学校を取り巻く環境だけでなく、社会全体も常に変わり続け、グローバル化の進展、ICTの進化により、広い範囲で人とモノがつながり、近い将来さえ予測困難な時代となってきています。

このような時代を担っていく子どもたちは、様々な変化に主体的に向き合うとともに、他者と協働しながら価値の創造に挑み、よりよい社会を形成していく力を身につけていくことが重要です。

今の社会を支える一員の我々も子どもたちに負けないように子どもに学び、地域に学び、自身に学んでいかなければならないのではないのでしょうか。

広島県では、学校において「生きる力」を合言葉に、自ら課題を発見し解決していく能力の育成が行われています。また、家庭・学校・地域が連携したコミュニティスクールの推進も進んでいます。

本大会は、「できない」を「できること」にすることを当事者意識をもって、自分自身が、家庭・学校・地域をつなぐ存在となんだという役割を再認識する場としてまいりました。今までの知識や経験の上に立ちつつ、今後の激変する時代に対応できる、学習力・判断力・実行力を兼ね備えたPTAの創造がこれからの各所での地域づくりにつながり、その活動が子どもたちの未来へ続いていくことを願っております。

改めて、この機会を与えていただきました先人の皆様と、支えていただきました皆様へ感謝いたします。ありがとうございました。

令和5年8月25日(金)・26日(土)に行われました第71回日本PTA全国研究大会広島大会での全体会及び県内8会場で行われました分科会での研究概要、全体会記念公演についてご紹介します。

## 全体会記念公演

### 演題

# 心のトリセツ

～「逃げ癖」を[意欲]に変える脳科学～

～講師プロフィール～

株式会社 感性リサーチ 代表取締役  
人工知能研究者、感性アナリスト、随筆家  
日本ネーミング協会理事、日本文藝家協会会員

1959年長野県生まれ、栃木県育ち。  
1983年奈良女子大学 理学部 物理学科卒。  
1988年ごろから、ヒトと人工知能の対話の研究を始める。

その最初の開発ミッションで、1991年4月、全国の原子力発電所で稼働した女性司書AI(大型汎用ビジネス環境では「世界初」と言われた日本語対話型インタフェース)を実現している。この研究の途上で、「情がからむとっさの」対話スタイルに男女差があることを発見。男女の脳の「とっさの使い方」の違いの研究を始める。やがて、語感の正体が「ことばの発音の身体感覚」であることを発見。AI分析の手法を用いて、世界初の語感分析法である「サブミナル・インプレッション導入法」を開発し、マーケティングの世界に新境地を開拓した、感性分析の第一人者。

感性研究からくりだされる男女脳の可笑しくも哀しいすれ違いを描いた随筆や恋愛論、脳機能から見た子育て指南本、語感の秘密を紐解く著作も人気を博し、TVやラジオ、雑誌にもたびたび登場。アカデミックからビジネス、エンターテインメントまで、広く活躍している。

主な著書に、『妻のトリセツ』『家族のトリセツ』などがある。



講師 黒川 伊保子氏

8月26日(土)に、広島県立体育館グリーンアリーナで全体会を開催しました。

全体会の前に、第53回日本PTA中国ブロック研究大会広島大会を開催しました。

その後、「広島ジュニアマリンバアンサンブル」の皆さんにマリンバの演奏をしていただき、全体会が開催されました。

全体会では、黒川先生に「脳」についてご講演いただきました。

いろいろな「脳」のお話をされましたが、一番印象的だったのが「事の経緯派」と「今できること派」です。

「事の経緯派」は電気信号の流れでいうと、右脳と左脳の連携信号の横信号を多く使う脳の状態です。これを、「共感型」と名付けられました。それは、共感してあげると、最高の答えが、最短で演算だからです。

「今からできること派」は、脳の縦方向の信号を多めに使う回路の使い方です。これは、「問題解決型」と名付けられました。

「事の経緯派」と「今できること派」の対話方式は全然違います。しかし、対話するなかで感情的になることが重要です。感情的になり、過去の経緯を話し始めたとき、深いところにある答えを導き出そうとしていると思い、話しを聞こうと思えます。そのときに重要なことが、共感で聞くことです。

共感力で聞き、ねぎらうこと、脳の再現速度が速くなり、記憶の再現の精度も上がるため、素晴らしい答えが最短でできます。共感型の会話は、共感してねぎらうと、実は最短で終わります。私たちの脳は、素敵な装置で、気持ちいい思いをさせてあげると、その性能が数十倍から数百倍に跳ね上がる、そんな装置です。

知れば知るほど奥深い脳の働き、黒川先生は「脳が喜んでいることが、すごく大事」と話されました。脳が喜んでいる状態、それは自分にとってプラスに働いている状態ではないでしょうか。

貴重な講演、楽しく聞くことができました。もっといろいろなことを聞きたいと思いましたが、時間に限りもあり残念でした。

貴重な講演を、ありがとうございました。

第1

第1分科会/家庭教育  
子供の力を引き出す  
家庭教育のあり方

激動の時代を生き抜く子供たちを育むために、家庭教育の重要性が指摘されている。自己肯定感を高め、何事にもチャレンジし、自らの道を自力で切り開いていく子供をどう育てていくかが問われている。そのため、どのように家庭教育を進めていくか、様々な取組や意見交換を行った。

第2

第2分科会/学校教育  
すべての子供たちの  
豊かな学びを実現するために

学校教育においては、一人の子供も取り残さない取組が求められている。しかし、現状をみると様々な原因で学校へ行けなくなり、多様な学びの場を求めている子供たちが数多く存在しているのも事実である。学校に行き難い子供たちの学びを保障するために、どのような取組が必要か学んだ。

第3

第3分科会/地域連携  
学校教育と地域連携をどう進めていくか  
～子供の成長を地域と共に～

子供の教育は学校と保護者だけでは担いきれないと言われている。地域の声を学校に取り入れ、共に子供を育てていくコミュニティ・スクールや、伝統文化などを、地域住民を講師・協力者として学習していく取組も全国にひろがりつつある。地域とともに歩む教育活動を効果的に進めていくにはどうすればよいか学んだ。

第4

第4分科会/人権教育  
子供のかえがえのない命と尊厳を守る  
～幸せに育つ子供の未来のために～

近年マスコミ等で、子供の人権が大きく損なわれる事件が報道されている。かけがえのない命まで失われた例や、様々な原因で幸せに育つ権利が侵害されている子供も多く存在する。ますます多様化していくこれからの社会の中で、人権が侵害されている子供たちの現状から目をそむけることなく、子供たちの命や尊厳を守る取組について学んだ。

第5

第5分科会/広報活動  
PTAの活性化を図る  
効果的な広報活動の在り方  
～思いや考えを的確に、効果的に伝えるために～

PTA組織としての活動を会員や社会に正しく認識してもらい、信頼関係を築くことが大切である。また、多くの会員の考えや社会の動きなどを正しく受け止め発信する双方向コミュニケーションの役割も担っている。この目的を効果的に達成するため、どのような方法や手段があるのか、実際の取組を参考にしながら学んだ。

第6

第6分科会/防災教育  
予期せぬ災害から  
大切な命を守るために  
～今、できること・考えておくべきこと～

2018年(平成30年)7月に発生した西日本豪雨では、広島県全域で甚大な被害が生じた。それ以降も日本各地で様々な天災に見舞われている。災害に対する子供や大人の意識をより高めるために、今私たちにできることは何かを考え、地域連携をして大切な命を守るために、「防災教育」を目的課題(地域課題)として学んだ。

特1

特別第1分科会/日本PTA担当  
世界で活躍する人材を育むために  
～これからの国際化に対応できる力とは～

日本PTA全国協議会の取組の中に「世界で活躍する人材を育む活動」が挙げられている。それを実践するため国際交流事業や国内研修事業が実施されている。近年はコロナウイルス感染症のため、国内事業となっているが、世界で活躍する人材育成というポリシーは根付いている。国際化は今後さらに加速される流れであり、PTAとしても理解を深めていくため共に考え学んだ。

特2

特別第2分科会/文部科学省協力  
教育の情報化の推進  
～これからの情報化社会に生きる子供たちに必要なもの～

現在の子供たちは、タブレットの配付やデジタル教科書の推進など、創造性を育む教育ICT環境の実現に向けてスタートが切られている。現在ICTの活用が日常的なものとなっており、情報テクノロジーが子供たちの可能性をさらに広げ、学校教育を大きく変えていくことが期待されている。今後の激動の社会を生きる子供たちのICT学習推進のため、行政・学校・地域等と力をあわせていくために情報共有を行った。

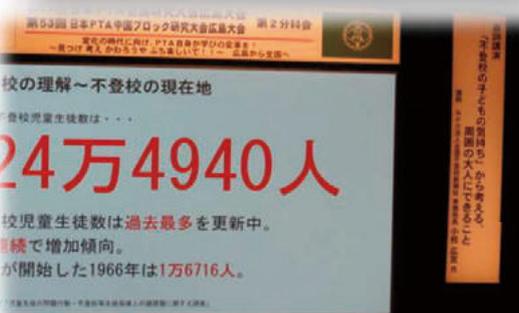
全国から6000名以上のPTAの仲間が

# 広島大会全記録

8/24運営打ち合わせ会レセプションから 8/25各分科会 8/26全大会まで



八日向雅美氏



ご参加くださいました。たくさんの方のご協力により、広島大会は大成功のもと無事終了いたしました。心より感謝申し上げます。



## 第71回 日本PTA全国研究大会 広島大会を終えて

今年の夏は非常に暑く、本当に猛暑でした。その中で、第71回日本PTA全国研究大会がここ広島でできたこと、うれしく感じております。

大会スローガンである「変化の時代に向け、PTA自身が学びの変革を！～見つけ 考え かわろうや ぶち楽しいで!!～広島から全国へ」全国の会員のみなさまの、終わったときの充実した表情、スローガン通り楽しんでいただき、広島で学ばれたこと、全国へ伝えてくださると確信しました。

大会まで、何年にもわたり協議を行いつつも、なかなか想像できず困惑したこともありましたが、当日は、本当に全国から会員のみなさまが参加して下さるのか、会場が埋め尽くされるのか不安でした。分科会、全大会、会員のみなさまで埋めつくされた会場をみて、ほっとしたのと同時に、あと少し、楽しみながらがんばろうと思っていました。

実際にこのような大きな大会に携われたこと、ほごりに思います。こんな自分でも、みなさまと協力して大会を動かすことができるんだと思いました。これも、会員のみなさまの協力があったからこそです。終わったときの、自分も含めたみなさまの達成感と安堵感にみちた笑顔は忘れられません。

大会当日は、いろいろ不手際もありご迷惑をおかけしたこともあったかと思いますが、会員のみなさまのご協力があったからこそ、大成功という形で終わることができました。本当ありがとうございました。これからも、日本PTA協議会、広島県PTA連合会をよろしくお願いたします。



◀第71回日本PTA全国研究大会広島大会  
特設サイト

令和5年11月18日  
広島県PTA連合会副会長・広報委員長 生田 真紀

NEXT ▶▶▶

## 次回大会開催地

- ▶日本PTA全国研究大会
- ▶日本PTA中国ブロック研究大会

日本PTA全国協議会や日本PTA中国ブロック協議会では、全国各地や各地区ブロックで、全国のPTA会員のための学びの場を設けています。今年8月に開催され大団円に終わった広島大会。次の開催地は？ともに学んでいきましょう！

### ▶日本PTA全国研究大会

## 「川崎大会」

第72回日本PTA全国研究大会川崎大会・第56回関東ブロック研究大会実行委員長の浦山利博と申します。子育て真っ盛りの空飛ぶドローンおじさんです。

本大会は、「ウェルビーイングの実現を、川崎の地から～活かそう「縁」の力～」を大会スローガンとしました。PTAの縁に改めて気付き、家庭・学校・地域の縁が織りなす道を通じて、より包括的な意味での幸せ、すなわち、ウェルビーイングを社会に広げることを目指しています。

私たちの活力の源は、何にもまして子供たちの笑顔です。子供たちの喜びもまた大人の笑顔でしょう。その原点に立ち返り、そこから皆様と共に、笑顔、ウェルビーイングを、広げて行きましょう。そして、子供たちが、生きる強い力と公德心に満ち溢れ、将来、それぞれの方法で社会に羽ばたくことを願いつつ支えて参りましょう。

明日につなぐ学びと共感、愉快さ満載の企画で、皆様のお越しを心からお待ちしています。

▲実行委員長  
浦山利博さん

▶大会HP

川崎大会  
ウェルビーイングの実現を。  
川崎の地から  
～活かそう「縁」の力～

日程：2024年8月23日(土)・8月24日(日)  
会場：川崎市とどろきアリーナ

### ▶日本PTA中国ブロック研究大会

## 「やまぐち大会」

来年(R6年)11月2日(土)KDDI維新ホールにて開催される、日本PTA中国ブロック研究大会「やまぐち大会」実行委員長の金子です。

約3年半のコロナ禍を経て、あらゆる場面でのコミュニケーションの機会が減りました。オンラインでのコミュニケーションの取り方など、時代の進歩を実感しつつも、それでも子ども・保護者・教職員など人間関係が希薄化したことは否めません。本大会のテーマを『つむぐ』とし、人と人との絆や、地域との関わりなどを今一度つむいでいき、これからの子どもたちの学校生活や、より良いPTA活動の一助になることを願い、大会を主管させていただきます。宜しくお願い申し上げます。



▲山口県PTA連合会  
公式HP

第54回 日本PTA中国ブロック研究大会  
やまぐち大会  
つむぐ  
未来の大人たちへ

開催日：令和6年11月2日(土)  
会場：KDDI維新ホール(新山口駅隣接)

令和5年度  
「楽しい子育て全国キャンペーン」

# 三行詩

～家庭で話そう！我が家のルール・家族のきずな・命の大切さ～  
広島県 PTA 連合会賞

おめでとうございます！

三行詩にご応募いただきありがとうございます。

広島県 PTA 連合会内での選考により小学校の部・中学校の部  
一般の部の優秀賞を決定しました。

## 中学生の部

命は、人生で一回しかない  
命はつながっている  
辛い事や色んなことをなに事もやりきろう。

江田島市立三高中学校  
3年 カサンドラ

母の優しい「おかえり」を  
私はあと何度聴けるのだろうか  
ささやかなこの時間を大事にしたい

江田島市立三高中学校  
3年 濱田萌愛

絆の材料信頼小さじー  
ぶつかり合い小さじー  
大きな愛大さじ5

山県郡北広島町立豊平中学校  
3年 脊戸誠一郎

「弱さ」を見せない両親へ  
「弱さ」を見せられるような  
「強い」自分に

山県郡北広島町立豊平中学校  
3年 上野陽

小さな家  
でも家の中は  
大きな家族のきずな

山県郡北広島町立豊平中学校  
1年 清水蒼唯

## 小学生の部

動物園でゾウを撮る私  
それを撮る母  
その景色を撮る父 満足げ

廿日市市立佐方小学校  
6年 中村真子

反抗期  
素直になれない日もあるけど  
完食で母に伝えるありがとう

廿日市市立佐方小学校  
6年 加藤萌々華

できるよできるよと  
せなかのおうえん  
じてんしゃのれたよありがとう

安芸郡府中町立府中南小学校  
3年 尾田輝真

泣いても  
お母さんのぎゅうで  
げんきで

尾道市立土堂小学校  
3年 湯川まりの

おおきいランドセルせおって  
ねーねのうしろいき  
ねーねにまけない  
おおきなこえて“いつてきまーす”

福山市立松永小学校  
1年 徳山遥愛

## 一般の部

覚えてたの漢字で  
子供の手紙  
うれしいなあ。

福山市立松永小学校  
大久保結衣

寝る前に  
居てくれるだけで  
ありがとう

山県郡北広島町立豊平小学校  
山本まどか

子育て前、  
夫婦でカフェ巡り  
今、子ども主導で公園巡り

安芸郡府中町立府中南小学校  
尾田宗明

自分で決めて  
何かを得るまでやってみる  
ダメでも家族がついてる。

福山市立松永小学校  
山本哲史

「うるさい、だまれ」と言われ  
ても送迎がんばるお父さん。  
それでも天然ボケは止まらない。  
少しの笑いがあればいい。

山県郡北広島町立豊平中学校  
上野和美

「楽しい子育て全国キャンペーン」三行詩は、  
家庭教育の大切さや命の大切さについ  
て、家族で話し合い一緒に取り組むこと  
を社会全体に呼び掛けていくため、これ  
らをテーマとする三行詩を募集し表彰  
する、日本 PTA 全国協議会による取り  
組みのひとつです。

令和5年度全国表彰作品はこちら▼



# 「学校給食について考える」

広島県教育委員会食育コラム

日本の学校給食の起源をご存知ですか？明治 22 年山形県鶴岡町（現鶴岡市）の大督寺というお寺の中に建てられた私立忠愛小学校で、生活が苦しい家庭の子供たちのために、昼食を用意したことが、日本における学校給食の起源とされています。その後、児童の栄養改善のため、広まりを見せていた学校給食ですが、戦争による食料不足などを理由に中止せざるを得なくなりました。

しかし、戦後の食糧難による児童の栄養状態の悪化を背景に、学校給食の再開を求める声が高まったことで学校給食が再開され、学校給食による教育効果を促進する観点から、冬季休業と重ならない 1 月 24 日から 1 月 30 日までの 1 週間を「学校給食週間」としました。

子供たちの食生活を取り巻く環境が大きく変化し、偏った栄養摂取、肥満傾向など、健康状態について懸念される点が多く見られる今日、学校給食は子供たちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けるために重要な役割を果たしています。

学校給食週間には、このような学校給食の意義や役割について、児童生徒や教職員、保護者、地域住民の理解や関心を高めるため、全国で様々な行事が行われます。

★ ★ ★ ★ ★  
**「ひろしま給食」**  
**100 万食統一メニュー**



**HIROSHIMA**  
**特製モリモリ焼き**

さて、「陽だまり No.70」でお知らせしました「ひろしま給食」100万食メニューについて、広島県産の青ねぎ、大豆、ほうれん草、レモン、牛乳の5品目を指定食材として募集を行いました。今年度も多数の応募があり、県民投票によって、「ひろしま給食」100万食統一メニューは、「HIROSHIMA 特製モリモリ焼き」に決定しました。このメニューは、他の「ひろしま給食」100万食メニューとともに、令和6年1月24日～30日の全国学校給食週間を中心に、県内の学校給食等で提供されます。これらのメニューを通して、学校給食への理解や関心を高めるとともに、子供たちの健全な心身の発達に資することを期待しています。



■ 広島県教育委員会ホームページ

(<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/kyouiku/juten-kyusyokusuisin.html>)

## 充実の補償で お子様を サポートします

● 誤って他人のものを  
 壊したり、他人にケガを  
 させてしまったら…  
 (加害事故の補償)

インターンシップ（職場体験）  
 等に起因する法律上の賠償責任  
 も対象になります。

● 授業中やクラブ活動など、  
 校内外を問わず発生  
 する急激かつ偶然な外来  
 の事故によるケガや病気\*  
 の補償

\* 病気入院補償は  
 Hプラン・Wプラン  
 のみ対象です。



## 団体割引適用で 割安な保険料！

団体割引30%  
 損害率による割引30%適用  
 メディカルアシストでお子様の  
 健康相談を24時間受付

● 学校管理下中の学用品・  
 身の回り品などの補償  
 ● 育英費用 等

充実の補償でお子様をサポートします。

## 広島県PTA連合会 小・中学生総合保障制度



小・中学生総合保障制度は団体総合生活保険のペットネームです。  
 この広告は「広島県PTA連合会小・中学生総合保障制度」の概要について紹介したものです。保険の内容はパンフレットをご覧ください。ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読み下さい。

詳細は契約者である団体の代表者の方にお渡ししてあります保険約款によりますが、ご不明な点がございましたら取扱代理店・引受保険会社までお問合せください。  
 この保険契約は、以下の保険会社による共同保険契約であり、東京海上日動火災保険株式会社が他の引受保険会社の代理・代行を行います。各引受保険会社は、契約締結時に決定する引受割合に応じて、連帯することなく単独別個に保険契約上の責任を負います。なお、引受割合につきましては、団体窓口にご確認ください。

令和5年2月作成 22TC-102377



引受幹事保険会社

## 東京海上日動火災保険株式会社

お問合せ先・取扱代理店：(株)東京海上日動パートナーズ中国四国 TEL：0120-018-217  
 保険会社：東京海上日動火災保険株式会社 広島支店 広島中央支社 TEL：082-511-9194

パンフレット・重要事項説明書は左記  
 「お問合せ先」にご請求下さい。

共同引受保険会社

あいおいニッセイ同和損保

MSK AIOI INSURANCE GROUP